

令和8年度 受験者のために



鹿児島大学法文学部 概要

FACULTY OF LAW, ECONOMICS AND HUMANITIES



法経社会学科

Law, Economics and
Sociology

人文学科

Humanities

アクセス



鹿児島市電をご利用の方

市電2系統「唐湊(とそ)電停」または
「工学部前電停」下車(徒歩 約5分)



JRをご利用の方

指宿枕崎線「郡元」下車(徒歩 約12分)



市営バスをご利用の方 (鹿児島中央駅経由)

11番線(鴨池・冷水線)
20番線(緑ヶ丘・鴨池港線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)



鹿児島交通バスをご利用の方 (鹿児島中央駅経由)

18番線(大学病院線)
19番線(紫原・桜ヶ丘団地線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)



南国交通バスをご利用の方 (鹿児島中央駅経由)

N30番線「鹿大教育学部前」下車(徒歩 約3分)
N39番線「法文学部前」下車(徒歩 約3分)



最新情報は法文学部のサイトをご覧ください。

<https://kadai-houbun.jp>



見てね!



法文学部に関するお問い合わせ

鹿児島大学 法文学部 学生係
〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番30号

TEL 099-285-7525

FAX 099-285-3597



目次

法文学部長より
法文学部のあゆみ ————— 2

法文学部で
3つの学びを実現する ————— 3

法文学部の理念と教育 ————— 5

学科・コース紹介

法経社会学科 ————— 7

法学コース ————— 9

地域社会コース ————— 11

経済コース ————— 13

人文学科 ————— 15

多元地域文化コース ————— 17

心理学コース ————— 19

入学定員と募集人員（令和8年度）—— 21
留学

学生生活支援 ————— 22
就職状況
法文学部附属センター
大学院

広く学ぶ。
深く学ぶ。
学びを活かす。

法文学部長より

鹿児島大学法文学部は、薩摩藩の藩校の名前を受け継ぐ旧制第七高等学校造士館の系譜に連なり、戦後に設置された文理学部を経て、1965（昭和40）年に誕生しました。以来、法学、経済学、人文学の多彩な専門分野を擁する人文社会系総合学部として、高度な専門性と幅広い知識を修得した2万人を超える卒業生を送り出しています。2017（平成29）年度からは、法経社会学科・人文学科のもとに法学コース・地域社会コース・経済コース・多元地域文化コース・心理学コースの5コースを配置して、所属するコースの専門分野について体系的に追究するとともに、人文社会系の様々な分野についても総合的に幅広く学ぶことのできるカリキュラムを構築しています。

21世紀も四半世紀に達しようとしている現在、私たちが暮らしている世界では、内戦や国際紛争、深刻化する環境問題や感染症の流行、さらには拡大する一方の経済格差やダイヴァシティ（多様性）をめぐる議論や対立など、依然として解決すべき多くの問題を抱えています。しかも、急速に発展する生成AIによって、新たな価値観や文化が創造される一方、人と人との結びつき、国家や社会のあり方、経済や産業の仕組みなどが大きく変容する可能性も指摘されています。

こうした先の見えない混沌とした時代だからこそ、法文学部で学ぶ意義はますます高まっているといえるでしょう。人文社会系の諸分野では、たとえば誰もが公正や正義や平和を享受できる規範やルールであったり、個人や社会の発展や繁栄をもたらす生産や流通の仕組みであったり、あるいは個人や社会の活動の結果として形成されてきた文化や芸術であったりと、探究の対象となるのは人間や社会に深く関わる事象です。その人間や社会のあり方が大きく変容しようとしている今、法文学部の伝統的な学問領域における確固たる問題意識に基づき、新しい分野や技術にも対応できる柔軟な思考力や実践力を身につけることが非常に大きな意味を持つのではないのでしょうか。皆さんが法文学部で学び、こうした知見や能力を修得されることを心から願っています。



法文学部長 藤内 哲也

法文学部のあゆみ

1901年3月	第七高等学校造士館設置
1946年3月	第七高等学校と改称
1949年5月	鹿児島大学設置。第七高等学校を母体として文理学部（一般教養部を含む）が開設され、文学科・社会学科・理学科を設置
1965年4月	鹿児島大学法文学部を開設し、法学科・経済学科・文学科設置
1979年4月	大学院法学研究科設置／文学科が人文学科に発展
1986年4月	大学院人文科学研究科設置
1997年4月	法政策学科・経済情報学科・人文学科に発展
1998年4月	大学院人文社会科学研究科設置
2002年4月	大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻（博士後期課程設置）
2004年4月	法科大学院（司法政策研究科）設置（2017年3月廃止。同年4月「司法政策教育研究センター」に改組）
2007年4月	大学院臨床心理学研究科設置
2017年4月	法経社会学科（法学コース・地域社会コース・経済コース） 人文学科（多元地域文化コース・心理学コース）に改組
2022年4月	司法政策教育研究センター法文学部附属組織化
2022年10月	「鹿児島の近現代」教育研究センター設置



法文学部で3つの学びを実現する

広く学ぶ
総合性

深く学ぶ
専門性

学びを活かす
活用性

「広く学ぶ」「深く学ぶ」「学びを活かす」の3つの「学び」を基本とし、各コースの特色ある教育と分野横断的な教育をクロスさせたカリキュラムを準備します。

法文学部の教育理念

南九州唯一の人文社会科学系総合学部として、法文学部では、総合的な観点から人間と社会を深く理解し、情報化・国際化および地域社会の変化にともなう諸問題に適切に対処できる現実的な課題解決能力を持つ人材の育成を目指します。

特色ある教育

- すべての学生に開講される法文スタンダード科目
- 基礎・活用・実践の3つのフェーズに分かれた専門教育の展開
- 学際的な知識と現場感覚を身につける法文アドバンスト科目
- 学びをさらに飛躍させたい学生のための法文チャレンジ・プログラム

専門分野を体系的に追求する5つのコース



法経社会学科

LAW, ECONOMICS AND SOCIOLOGY

社会科学を学ぶ

法学コース

地域社会コース

経済コース



人文学科

HUMANITIES

人文科学を学ぶ

多元地域文化コース

心理学コース

法学コース

法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリストとして社会で活躍できる。

経済コース

経済・経営・情報分野の基礎知識と専門性を持ち、地域の企業や自治体において中核的な立場で活躍できる。

多元地域文化コース

地域および世界の多様な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる。

地域社会コース

地域社会の理解を深め、地域社会の課題を住民参画による協働形成によって解決できる。

心理学コース

人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献したり、心理学の知見を活かして産業・ビジネス分野で活躍できる。

法文学部の理念と教育

法文学部では
このような学生を求めています！

1 人文社会科学を学ぶうえで必要となる
幅広い基礎学力を備えている人

2 地域社会と世界の人間・文化・社会に
関心を持つ人

3 現実に即した問題解決能力・言語能力・
情報処理能力の習得に意欲のある人

4 大学で自分の将来および可能性を探究する
意欲のある人

法文学部では
このような教育をおこないます！

総合性 広く学ぶ

法文スタンダード科目「人文社会総合論」：人文社会科学系総合学部としての特性をふまえ、法文学部のすべての学生が共通して身につけるべきものとして、人文科学や社会科学の基礎的な知識や多様な問題について考えるための幅広い視点を学びます。

専門性 深く学ぶ

段階的な専門教育：すべての学科・コースにおいて、「基礎」・「活用」・「実践」という3つのフェーズに分かれた専門科目を体系的・段階的に受講することで、より高度な知見や技能を身につけます。

基礎 学科やコースの学生が共通して理解すべきものとして、専門領域の基本的な考え方やその発展過程について学びます。

活用 多彩な授業科目を通じて専門的な知識や技能を磨き、現代社会や文化の諸問題について考える力を養います。

実践 現場での実習やゼミでの活動を通じて、他者とのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、状況に応じた柔軟な発想力や主体的な行動力を身につけます。

活用性 学びを活かす

法文アドバンスト科目：学科やコースでの学びをさらに飛躍させ、学問分野を越えた学際的な知識を身につけるとともに、現場感覚を有した柔軟な発想力や実践力を磨きます。

法文アドバンスト科目Ⅰ

豊かな自然や歴史遺産を有する鹿児島を中心とした地域の可能性や課題を探り、地域社会に貢献するために、自治体や企業とも連携しながら、以下のような科目を開講します。

「観光学」「アクティブゼミ」「まちづくり論」
「自治体政策総合論」「海外異文化体験実習」
「地域科学演習」「現代社会を探る」
「マスコミ論Ⅰ・Ⅱ」など

法文アドバンスト科目Ⅱ

文系・理系の枠にとらわれず、分野横断的な幅広い知見を身につけるために、理系学部の協力を得て、以下のような科目を開講します。

「自然科学から見る人・文化・社会」
「日本水産業概論」
「水圏環境保全科学」など

法文チャレンジ・プログラム ▶ 広く学ぶ、学びを活かす

専門教育で培った知見や技能をさらに発展させるとともに、他学科や他コースの専門分野を含めた、さらなる学びを追究したい学生のために、右の4つのプログラムを用意しています。
このプログラムを履修した学生には、修了証明を発行します。

● 司法チャレンジ・プログラム

● 地域再生チャレンジ・プログラム

● 異文化体験チャレンジ・プログラム

● 心理学チャレンジ・プログラム



総合的視点をもった体系的な教育によって、
社会科学の素養を活かした
思考力・表現力・ファシリテーション力を身につけ、
多様な社会を理解し、課題を発見する

深く学ぶ。学びを活かす。

法経社会学科では、人と社会に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた社会科学の素養を課題発見とその解決に活用できる人材の育成を目指しています。

法経社会学科

LAW, ECONOMICS AND SOCIOLOGY

法経社会学科の教育方針

- 法経社会学科は、地域社会、国際社会の抱える課題解決に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 法経社会学科では、社会科学の様々な分野に関する知識・スキルを、基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 法経社会学科では、地域社会、国際社会に貢献できる人材を育成します。

法経社会学科は、法学コース、地域社会コース、経済コースよりなり、それぞれ専門性を踏まえた学びを実現します。



法経社会学科スタッフ紹介

法学コース

伊藤 周平 (社会保障法)

上原 大祐 (刑法)

植本 幸子 (民法)

梶 悠輝 (刑事訴訟法)

河野 航平 (民法)

齋藤 善人 (民事手続法)

中村 逸春 (政治学)

松田 忠大 (商法)

三上 佳佑 (憲法)

本村 大輔 (租税法)

森尾 成之 (行政法)

吉崎 敦憲 (法律実務)

米田 憲市 (法社会学)

地域社会コース

井原 慶一郎 (芸術文化デザイン論)

小栗 有子 (社会教育学、環境教育論)

片桐 資津子 (福祉社会学)

金子 満 (住民自治・主体形成論、まちづくり論)

城戸 秀之 (現代社会論)

桑原 司 (コミュニケーション論)

酒井 佑輔 (多文化共生教育論、社会教育学)

崎野 剛 (自治体政策論)

農中 至 (社会教育学、人権・格差論)

経済コース

新井 利英 (経済政策論)

安藤 良祐 (経営組織論)

市川 英孝 (技術経営論)

王 鏡凱 (経営財務論)

北村 浩一 (管理会計論)

呉 博宇 (金融論)

高倉 啓 (マクロ経済学)

馬場 武 (情報マネジメント)

林田 吉恵 (財政政策論)

松川 太一郎 (経済統計論)

三浦 壮 (日本経済史)

山本 一哉 (国際金融論)

ユ ギジュン (地域経済論)

渡邊 碩 (経済学概論)

(令和7年度6月現在、50音順)

法経社会学科 法学コース

専門的知識を用いて、地域社会や国際社会の諸問題を発見し
解決策を発信できる人材を育成

法学コースでは、法学・政治学に関する知識、論理的・科学的思考力と実践的な判断力、自らの考えを他者に伝える表現力を身につけます。これによって、地域社会や国際社会が置かれた諸状況の中から解決すべき課題を発見し、多様な考えや視点を踏まえつつ適切に解決するためのファシリテーション能力を有する人材を育成します。



授与する学位

- 学士(法学)

取得できる資格

- 中学校教諭一種(社会)
- 高等学校教諭一種(公民・商業)
- 学芸員

VOICE 在学生の声

萱島 彩妃さん 法学コース3年

法学コースの特徴は、卒業後に目指す進路が学生によって多様である点であり、幅広い分野の講義が開講されているので、自身の進路に合わせた講義を履修することができます。座学だけでなく、教員と学生の双方向的な授業や学生間で意見を交わし合う授業もあるため、学んだ知識をアウトプットし、さらに学びを深めていくことができます。また、希望者を対象とした法曹養成連携プログラムは、法科大学院進学を見据えた教育を受けることができるので、法曹を目指す学生にとって魅力的な制度の一つだと思います。将来は法律家となり、大学で身につけた法学の知識や法的論理的思考力を活かしていきたいです。



教育の特徴

3つの履修モデル

卒業後の進路をイメージした「公共政策法」「国際企業取引法」「司法」の3つの履修モデルに沿って学修を進めることによって、それぞれの進路で役立つリーガルマインドや高度な法的スキルを身につけることができます。



実践的な法学教育

新しい時代に合った法学教育の手法を積極的に採り入れ、演習(ゼミナール)の他、実践演習(模擬裁判、法情報論、海外研修、法律事務所等でのインターンシップ等)などの科目を多数開講しています。これらの履修を通じて、高度な実践力を身につけることができます。



多様な進路

鹿児島大学における法学教育は、国家・地方公務員(県庁・市役所・裁判所・各中央省庁ほか)、九州や国内各地の有力企業、法律専門職(弁護士・司法書士・税理士ほか)など、社会の様々な分野に多くの人材を送り出してきました。法学コースはその伝統を承継しています。



カリキュラム

1年次

社会科学の基礎を学ぶ

社会科学の諸分野の全体像について把握します。



2年次

専門知識の基礎を学ぶ

法学・政治学の本格的な学びを開始し、理解を深めます。



3年次

修得した知識を実践的に身につける

専門知識の学習を深めるとともに、演習等の実践科目を通してこれらの知識を実践的に身につけていきます。



4年次

コースの学びを活用する

学んだ実践的な知識の修得の確認を行い、将来の進路に向けた準備をします。



主な就職先

- 公務員
- 民間企業
- 法律系各種資格取得
- 法科大学院進学(法曹コースを含む)など

VOICE 卒業生の声

清水 千亜里さん 宮崎地方検察庁検事 2016年卒業

検察官の仕事は、被疑者や被害者等の事件関係者だけでなく、裁判官や弁護士、警察官等様々な立場の人に接する仕事であり、相手の立場や考えを理解した上で、自分自身の意見を伝えなくてはなりません。そのような仕事をする中で、鹿児島大学で学んだ様々な知識や身につけた力は、現在の執務にあたる上で、とても活かされていると感じます。大学では、ただ講義を受講するだけではなく、ゼミや講義の中で、様々な法律問題について、学生同士で意見交換することなどにより、他者の意見を取り入れた上で自分自身の考えを深めることができ、さらに、それを他者に向けて発信するという力を身につけることができたと思います。

法経社会学科 地域社会コース

地域社会の理解を深め 地域社会の課題を解決できる人材を育成

地域社会コースでは、コミュニティの観点から社会学・自治体政策・社会教育学を中心に地域社会の現状と課題を学び、地域社会が抱える様々な課題を住民参画による協働形成によって解決できる人材を育てます。地域づくりの基礎であるコミュニケーション能力、地域社会の住民の視点からその課題や可能性を発見する能力、住民相互や行政など地域の組織団体との協働に必要なコーディネーターとしての能力を身につけることができます。



授与する学位

- 学士(学術)

取得できる資格

- 中学校教諭一種(社会)
- 高等学校教諭一種(公民・商業)
- 学芸員
- 社会教育主事(社会教育士)
- 社会福祉主事

VOICE 在学生の声

諸岡 優貴さん 地域社会コース4年

地域社会コースでは「地域」を舞台、材料にした学びの機会が数多く設けられ、学生が自身の「知りたい」を追求できる環境が整っています。また、アクティブラーニング形式での講義も行われ、「①地域の現状や課題を捉え②自分自身で落とし込み③表現する」学習形態が提供されています。私はゼミ活動で、県の政策立案や地域振興策についてフィールドワークを中心に学ぶ一方、2年次からは社会教育や多文化共生の分野にも興味が湧き、関連講義を受講し、普段暮らしている地域を新しい角度・考え方で捉えることができました。「関心の多様性に合わせた学習」のサポートが地域社会コースの魅力だと思います！



教育の特徴

2つの履修モデル

地域社会コースでは学生の将来の進路を踏まえて、「地域社会の課題発見を学ぶ履修モデル」と、「地域社会の協働形成を学ぶ履修モデル」を用意しています。前者には社会学、文化研究、自治体政策に関する科目、後者には社会教育・生涯学習に関する科目があり、相互に関連・補完し合っています。



少人数教育

地域社会コースでは演習、特殊研究、地域社会実習などにおいて少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。コース定員50名に対してきめ細かい指導をおこないます。



特色ある資格

地域社会コースでは教員免許状に加えて、社会教育主事、社会福祉主事の任用資格を取得することができます。社会教育主事は地域の課題発見や未来を考える住民の手助けをおこない、暮らしの再生につながる学習を組織する教育専門職です。



カリキュラム

1年次

社会科学の基礎を学ぶ

社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。



2年次

コースの基礎を学ぶ

コースの基幹科目を履修して学修する専門領域の基礎を築きます。



3年次

コースの学びを深める

専門領域の学修を通して論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。



4年次

コースの学びを活用する

これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。



2年次から地域社会コースに分かれ、ゼミ(演習)を選択します。

主な就職先

- 公務員
- 民間企業
- 団体職員
- 教員 など

VOICE 卒業生の声

高橋 知成さん 合作株式会社 2024年卒業

鹿児島県の大隅半島にある大崎町で、循環型まちづくりに取り組む団体に所属し、リサイクルの視察受け入れや体験型宿泊施設運営を担当しています。環境教育に関心を持って入学したものの、講義を通じて社会教育・生涯学習にも関心が湧き、学生時代は森のようちえんやフリースクール等のボランティア活動に従事してきました。また演習でのフィールドワークをきっかけに大崎町に惹かれ、現在は大崎町へ移住し楽しく働いています。学生生活を通じて社会教育・生涯学習の様々な現場に足を運んできたからこそ、卒業後も多様なつながりのなかで生かされ、「やりたいこと」実現に向けて動いていると実感しています。

法経社会学科 経済コース

地域の企業や自治体において 中核的な立場で活躍できる人材を育成

経済コースでは、地域レベルと国際レベルで経済・経営・情報の諸情勢が激動する中、そのダイナミズムを解明し実践の対応策を提示する知的パフォーマンスの発揮能力を育てます。そのために、基礎的な経済理論の修得、現実的な経済・経営情報に基づく科学的知見の生産方法、そして進化する情報システムの理解と活用を重視した教育課程が用意されています。そこでの学究は、教員そして学友との交流を通じて充実されます。



授与する学位

- 学士（経済学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）
- 学芸員

VOICE 在学生の声

古野 音旺さん 経済コース3年

経済コースは、経済を学びたいという方は勿論のこと、経営について学びたいという方にもおすすめです。経済、経営、情報など、幅広い分野の専門的な講義を受けることができます。私は将来バーを経営するという夢のために経営を学び、周りの皆と切磋琢磨しています。このコースにいる人は経済を学びたい者同士、ともに教え合い、助け合える仲間のような存在で、いつも感謝しています。ですから、もし行き詰まったときも安心してください。皆笑顔で力を貸してくれます！経済に関して少しでも気になることがあるのなら、ぜひこのコースでともに探求しましょう！必ず答えは見つかります！



教育の特徴

2つの履修モデル

経済コースでは、学生の将来の進路を踏まえて、「地域再生のための政策立案能力を育成する履修モデル」と、「地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修モデル」を用意しています。

少人数教育

経済コースでは、演習、特殊研究において少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。

情報処理教育

1年次から4年次まで段階的に情報処理教育をおこない、実社会で必要とされる情報処理教育を習得できるようにカリキュラムが構成されています。



カリキュラム

1年次

社会科学の 基礎を学ぶ

社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。



2年次

コースの 基礎を学ぶ

コースの基幹科目によって、学修する専門領域の基礎を築きます。



3年次

コースの 学びを深める

専門領域の学修を通して、論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。



4年次

コースの学びを 活用する

これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。



2年次から経済コースに分かれ、ゼミ（演習）を選択します。

主な就職先

- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 団体職員 など

VOICE 卒業生の声

押領司 拓海さん 総合系コンサルティングファーム 2024年卒業

私は現在、民間企業でテクノロジーコンサルタントとして働いています。この仕事は、クライアントの課題に対してテクノロジーを用いた解決策を提案し、実行・定着まで支援する仕事です。仕事をする中で、大学時代に講義やゼミ、特殊研究を通して培った「社会の様々な課題に対して問いを立て続ける力」は非常に生きています。ビジネスや社会の課題が複雑化・複合化している今、諸課題ヘアンテナを張り、何故そのような状況にあるのか・どのように解決できるのか…と問いを立て続ける＝問いを問い直すことが、原因の特定、延いては課題解決のために重要です。大学という場を活かして、ぜひ問いを立てる・問い直す力を磨いてください。応援しています。

総合的な視点を持った体系的な教育によって、人文科学の素養を活かした
思考力・表現力・コミュニケーション力を身につけ、
多様な文化を理解し、課題を発見する



深く学ぶ。学びを活かす。

人文学科

HUMANITIES

人文学科では、グローバル化、少子高齢化、高度情報化など地域社会が抱える諸問題について、人文科学の体系的な知識のもとに、人と文化に関する論理的・科学的な思考力、さらには多様性に対応したコミュニケーション力を持って、実践的に対処できる人材の育成を目指しています。

人文学科の教育方針

- 人間の心や歴史・文化・環境に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 人文科学の様々な分野に関する知識・スキルを基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 地域社会に貢献できる人材を育成します。

人文学科は多元地域文化コースと心理学コースがあり、専門性を踏まえた学びを実現します。



人文学科スタッフ紹介

多元地域文化コース

秋吉 康晴	(聴覚文化論)	スティーブン・コーダ	(英語コミュニケーション、応用言語学)
石田 智子	(考古学)	竹内 勝徳	(アメリカ文学)
宇佐美 達朗	(現代哲学)	竹岡 健一	(ドイツ文学、出版学)
内山 弘	(日本語学、日本中世文学)	藤内 哲也	(西洋史、イタリア史)
大田 由紀夫	(東アジア近世史)	中島 祥子	(日本語教育、異文化間教育、社会言語学)
太田 純貴	(美学芸術学、メディア論)	丹羽 謙治	(日本近世文学)
尾崎 孝宏	(文化人類学)	福永 善隆	(中国古代史)
金井 静香	(日本中世史)	三木 夏華	(中国語学)
兼城 糸絵	(文化人類学)	宮岡 大	(言語情報学)
小林 善仁	(人文地理学)	大和 高行	(イギリス文学)
櫻井 芳生	(現代文化論、社会学)	吉田 明弘	(自然地理学、第四紀学)
柴田 健志	(哲学)	渡辺 芳郎	(窯業考古学、物質文化論)
末松 信子	(英語学)		

心理学コース

安部 幸志	(生涯発達心理学、福祉心理学)	富原 一哉	(比較心理学、神経科学)
飯田 昌子	(臨床心理学、児童期臨床心理学)	平田 祐太郎	(臨床心理学、コミュニティ援助論)
大藁 博記	(社会心理学、進化心理学)	山崎 真理子	(社会心理学、消費者心理学)
菅野 康太	(行動神経科学)	横山 春彦	(認知心理学)

(令和7年度6月現在、50音順)

人文学科 多元地域文化コース

幅広い知識と視点から地域社会と国際社会の課題を解決できる実践力のある人材育成

多元地域文化コースでは、思想・文学・文化・歴史・環境・言語など、人文学の様々な専門分野を幅広く学ぶことができます。人文科学の基礎知識やスキルをバランスよく学ぶことができ、さらに自分の興味に沿った専門的な知識を習得できます。広い知識と深い専門性を活かし、人間社会の様々な事象を多面的に捉えられる分析力を身につけ、グローバル化や地域の抱える諸問題に対して自ら対応できる人材を育成します。



授与する学位

- 学士(文学)

取得できる資格

- 中学校教諭一種 (国語・英語・社会)
- 高校教諭一種 (国語・英語・地理歴史・公民)
- 学芸員

VOICE 在学生の声

棚町 彩乃さん 多元地域文化コース4年

高校時代、学びたいことがぼんやりしていたため歴史、文学、芸術、思想、言語など幅広い分野を網羅的に学び興味を広げられる多元地域文化コースに魅力を感じ入学しました。講義は基本から応用を順に受講でき、受講生同士の意見交流や先生へ質問できる機会も多いため、自分の知識レベルに応じて学びを深め、広い視野を養うことができます。私が所属するゼミでは、多文化交流や社会言語学について学んでいます。日常の会話や対人コミュニケーションの中で抱く違和感や疑問を起点とし、学術的な観点をういて調査を進めることで、当事者意識をもって身近な課題の解決につなげられるよう取り組んでいます。



教育の特徴

バラエティー豊かな科目

思想・歴史・文学・語学・環境・メディアなどの人文科学に関するバラエティー豊かな講義科目を開講しています。世界・日本などの様々な地域における人間や社会、文化に関する知識を幅広く身につけることができます。



実践力を養う教育

講義科目で得た知識をより発展させることのできる演習、実験、実習など、多彩な教育カリキュラムを用意しています。実社会で必ず求められる問題の発見力・解決力を持った人材の育成を目標にしています。



きめ細やかな指導

自分の発見した興味について、知識に磨きをかけるとともに、世界や日本の抱える諸問題に柔軟に対応できる人材の育成を目指しています。そのため、3年次からゼミの所属となり、専門性の高い教員から、きめ細やかな指導が受けられます。



カリキュラム

1年次

人文科学の基礎と教養を学ぶ

社会に必要な教養を身につけるとともに、人文科学の基礎知識を習得します。



2年次

幅広い知識を学び興味を発見する

多彩な分野の基礎的な講義を受け、幅広い知識と自分の興味にあった専門分野を探ります。



3年次

自分の興味について知識を深める

自分の興味にあった専門分野のゼミに所属して、深い知識や高度なスキルを学びます。



4年次

研究テーマについて卒業論文を書く

学んだことを活用し、教員の指導を受けながら、自分の研究テーマに取り組みます。



主な就職先

- 公務員
- 教員
- 民間企業
- マスコミ
- 博物館 など

VOICE 卒業生の声

後藤(森田)桃子さん 公益財団法人かごしま教育文化振興財団 2023年卒業

“A journey of a thousand miles begins with one step.”私が大学・大学院生活を通して学んだ言葉です。専門分野だけでなく、幅広く学ぶことに魅力を感じ法文学部人文学科への入学を決めました。専攻の英語では様々な分野の先生方から親身に丁寧な教えをいただき、卒論や修論の研究も充実しました。「Democracy now!学生字幕翻訳コンテスト」特別審査員賞を受賞することもできました。また、高等学校教諭専修免許(英語)、学芸員、防災士、中国語検定、秘書検定、かごしま検定、SNS検定など、自分の関心をとことん学び、それぞれの場所で出会う仲間と切磋琢磨し合える環境に感謝しています。現在は、鹿児島市立少年合唱隊運営や、福祉施設・小学生対象の芸術鑑賞提供、避難訓練コンサート、SNS広報担当など、すべてにおいて大学生活で得た知識や経験を活かしていると日々感じています。法文学部での学びを忘れず、これからも努力し続けたいです。

人文学科 心理学コース

他者に寄り添い地域の「心の健康」を支える人材と心理学を生かしてビジネス分野で活躍できる人材の育成

心理学コースでは、心理学の基礎から応用まで、幅広くかつ専門的に学びます。人間の心と行動を科学的に理解するための基礎的知識を身につけ、そこからさらに心の健康に関する実践的スキルや消費者心理などの実用的スキルを修得するカリキュラムが用意されています。人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献できる人材と、産業やビジネスに心理学的側面から貢献できる人材の育成を目指します。また、公認心理師受験資格を得られる教育体制・カリキュラムを整えています。



授与する学位

- 学士(文学)

取得できる資格

- 中学校教諭一種 (国語・英語・社会)
- 高校教諭一種 (国語・英語・地理歴史・公民)
- 学芸員
- 公認心理師(受験資格)

※受験資格を取得するには、大学院への進学などが必要になります。詳しくは厚生労働省の公認心理師関連情報をご確認ください。なお、公認心理師受験資格取得に必要な指定科目の一部には、成績等による受講制限が設けられています。

VOICE 在学生の声

山部 真奈さん 心理学コース3年

私は将来、犯罪者と被害者のこころに寄り添える警察官になることを目指し心理学コースを選びました。心理学には文系のイメージがありますが、統計や実験など理系的な要素も多く含まれています。ゼミや講義ではマウスを使ったり自ら被験者となり実験をおこなったりすることで、より実践的な学びを得ることが出来ます。また実験法や研究法での学びを通し、データ分析から考察までをレポートにまとめる力が求められます。論理的に文章を組み立てることは難しいですが、完成した際には大きな達成感と心理学の奥深さを実感します。私はこころについて深く学び、理解することでよりよい社会をつくることに貢献したいです。



教育の特徴

科学的思考力の育成

「心理学研究法」や「心理統計法」などの基礎科目によって、人間の心と行動を科学的・客観的に分析・理解する能力を育成します。このような科学的思考力は、すべての心理学分野の基礎になるだけでなく、実社会の複雑な問題を理解し、解決策を導く際に役立ちます。



2つの履修モデル

カウンセリングから脳科学まで、幅広い内容の心理学を学習することによって多角的に心理的問題にアプローチする能力を養います。また、「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」の2つの履修モデルにより、それぞれの現場に特化した知識・技能の獲得が可能になります。



現場で活きる知識・技能

文系総合学部の特徴を活かし、社会制度や経済状況など複雑な要因が絡みあう心理的問題を解決するための幅広い視野の獲得を目指します。また、実際の現場での実習科目によって、心理学の知識を適切に役立てるための実践的判断力とコミュニケーション力を養成します。



カリキュラム

1年次

学びの基礎を築き、心理学を概観する

初年次教育により学びの基礎を築き、基礎科目により心理学への導入を行います。



2年次

幅広い心理学の知識・技能を修得する

様々な心理学領域について学ぶとともに、心理学の基礎技能を修得します。



3年次

2つの履修モデルで実践力を高める

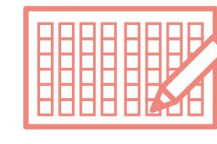
現場の課題を学び、実際の現場で活動することにより、実践力を高めます。



4年次

学びを統合して卒業論文を完成させる

興味関心に基づき深く学び、学んだことを活かして卒業論文を完成させます。



心理学コースでは、自らの興味関心や将来のキャリア計画に基づいて「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」のどちらかの履修モデルを選択します。また、両方の履修モデルの単位を修得することも可能です。

主な就職先

- 自治体・病院等の心理職 (主に大学院修了後)
- 民間企業
- 行政職公務員
- 教員 など

さらに詳細な情報・最新情報はこちら！



VOICE 卒業生の声

河野 彩子さん 福岡県障がい者更生相談所 2021年卒業

心理実習や専門的な授業、論文執筆を通し、実際の現場で働くイメージや根拠を持った物事の考え方を掴むことができたと思います。特に卒業論文の執筆には苦労しましたが、先生にご指導いただく中で、研究の流れを掴み、論理的な思考や視野を広げて考える力を鍛えることができました。また、研究会で先生や同期たちと議論を重ねた日々は、とても刺激的で充実していました。実際に支援に携わる中でも、子どもから大人まで、様々な相談者の立場を考え一人ひとりの困り事や課題に向き合う日々の業務では、学部時代の経験や学びが活かれています。学部時代に「学ぶ楽しさ」を知ったことで、心理職に欠かせない自己研鑽を楽しく積むこともできています。

入学定員と募集人員（令和8年度）

学科	コース	入学定員	コース定員	募集人員						
				一般選抜		特別選抜				
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	自己推薦型選抜	国際バカロレア選抜	私費外国人学部留学生選抜
法経社会学科	法学コース	245	90	70	8	3	9	—	若干名	若干名
	地域社会コース		50	98	20	7	30	—		
	経済コース		105					—		
人文学科	多元地域文化コース	165	125	80	10	10	20	5	若干名	若干名
	心理学コース		40	30	—	2	8	—		
計		410	410	278	38	22	67	5		

（法経社会学科の地域社会コースと経済コースについては、2年次に進む際にコースを決定します。）

※一般選抜および特別選抜の実施教科・科目、入試スケジュール等については、「令和8年度 入学者選抜要項」（鹿児島大学、令和7年7月）をご覧ください。

学生生活支援

奨学金・授業料免除制度・学生寮

経済的に学生生活を援助する制度としては、奨学金と授業料免除の制度があり、法文学部の約5割の学生がなんらかの奨学金を受けています。また、学生寮の個室の場合、男女とも月額4,300円です。

令和6年度 法文学部 奨学金受給者・授業料免除者数実績

日本学生支援機構奨学生	883名		
その他の奨学生	9名		
授業料免除者 （前期・後期述べ数）	全額	227名	468名
	2/3	138名	
	1/3	76名	
	1/4	27名	

就職状況



高い就職率を実現

法文学部は96.8%という高い就職率を誇り、就職以外にもさらなる進学や資格取得など希望に応じた多様な進路選択が可能です。

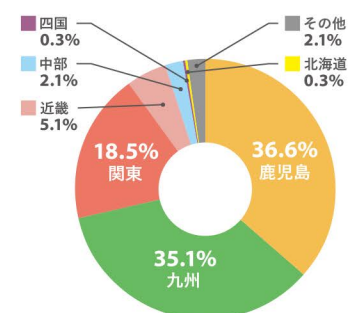
出身地での地元就職、地域への貢献

例年就職先の3～4割が鹿児島県内、約3割が鹿児島以外の九州地方内です。地域の企業や各種機関で中核を担う人材として活躍しています。九州内外を問わず多くの人が出身地を中心に各自治体や国の機関、地元有名企業に就職し、活躍しています。

広い世界への飛躍

出身地に関わらず、首都圏など大都市圏の自治体、全国区での国家機関や一部上場企業への就職を希望する人達も夢を叶えています。

地区別就職状況



※令和6年度卒業生

※詳細は「鹿児島大学」ホームページトップより「キャリア形成支援」ページ「関連情報」内の「就職・進路データ」をご覧ください。

留学

鹿児島大学では、主に、異文化理解と外国語運用能力の研鑽を目的として、世界26か国・地域の97機関（2025年5月1日現在）と大学間での学術交流、さらに、法文学部では、ドイツのミュンヘン大学、中国の内蒙古大学、内蒙古師範大学、上海海事大学、長江大学、海南大学、江蘇師範大学、台湾の暨南国際大学、タンザニアのセント・オーガスティン大学タンザニア、フランスのEMBA-ISUGAとの学部間学術交流を実施し、留学生の受け入れと本学生の派遣を行っています。令和6年度の学生派遣先は、右の表のとおりです。こうした学術交流協定に基づいた留学のほか、語学研修のために海外に赴く学生もいます。



派遣実績

令和5年度
14名

令和6年度
8名

国・地域	大学
韓国	釜慶大学校
台湾	淡江大学
トルコ	アンカラ大学
イギリス	セントラル・ランカシャー大学
ドイツ	カール・フォン・オシエツキー大学 オルデンプルク
スウェーデン	リンシェーピング大学

法文学部附属センター

司法政策教育研究センター

司法政策教育研究センターは、法学・政治学・司法政策分野の教育研究の推進と振興に取り組み、データベースの発信、専門職向けセミナー、高度な学習を望む学生の支援など、様々な社会貢献活動を実施しています。



「鹿児島の近現代」教育研究センター

鹿児島の近現代の歴史や文化、社会を対象にした研究をおこない、地域資料の収集と公開、データベース作成、教育プログラムの開発、講演会等の開催を通して、地域の活性化と課題解決に取り組んでいます。



「鹿児島の近現代」教育研究センター 特任教員

鈴木優作（日本近現代文学）、日高優介（地域社会学）
中嶋晋平（歴史社会学）、伴野文亮（日本近現代史）

大学院

大学院人文社会科学研究科には、博士前期課程（社会科学を基礎とした法学専攻・経済社会システム専攻、人文科学を基礎とした人間環境文化論専攻・国際総合文化論専攻）が、また専門職大学院として臨床心理学研究科（臨床心理学専攻）が設けられており、学部卒業後さらに高度の知識・技能を習得することができます。さらに、博士後期課程（地域政策科学専攻）も設けられています。

大学院

人文社会科学研究科

博士前期課程

・法学専攻
・経済社会システム専攻
・人間環境文化論専攻
・国際総合文化論専攻

博士後期課程

・地域政策科学専攻

臨床心理学研究科

・臨床心理学専攻